

もしもの時にあなたと家族の身を守る！ 大地震対応マニュアル

2013年1月作成

普段はこちらの面を家族の目につく場所に貼り出してください。
緊急時は裏面を見て、落ち着いて行動してください。

※空欄は事前にご記入ください。
※本マニュアルへの記入は油性のペンを使用してください。

避難場所へ移動する 判断基準は？

- 寒川町や警察、消防などから避難の指示があったとき。
- 家や建物が倒壊、または倒壊する危険があるとき。
- 近隣で火災が発生し延焼する恐れがあるとき。など

一時(いつとき)避難場所

自治会や町内会の単位で、災害時に広域避難場所へ避難する前に最初に避難し、様子を見たり、周囲の状況を確認する場所で、災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所です。町では地域集会所など26カ所を指定しています。

memo

広域避難場所

地震などにより火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所で、町では各小中高等学校の敷地内(グラウンド)とさむかわ中央公園の10カ所を指定しています。

memo

広域避難場所一覧

旭小学校	寒川中学校
旭が丘中学校	寒川東中学校
小谷小学校	一之宮小学校
寒川小学校	南小学校
さむかわ中央公園	寒川高等学校

避難所

家が倒壊したり、焼失をした人を収容する目的で、各小中高等学校の体育館などや寒川総合体育館の10カ所を予定しています。

memo

毎月第一日曜日は寒川町家族防災会議の日です!! わが家の防災計画について話し合みましょう

●家族の連絡先

名前	電話番号	勤務先・学校など

●家族への連絡方法

NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など災害発生時に、安否確認などの電話が増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。

伝言の録音 》 **171** 》 **1** 》 市外局番 + 自宅電話番号
 へ電話をかけます。
 伝言の再生 》 ガイダンスが流れます。 》 **2** 》 市外局番 + 被災地の方の電話番号

市外局番 - 電話番号 - 事前に記入しておきましょう
※被災地の方も、被災地以外の方も利用方法は同じです。

- 利用可能な端末/NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数/1電話番号あたり1~10伝言
- 録音時間/1伝言 30秒以内
- 伝言保存期間/2日間(48時間*自動消去)

携帯各社の災害用伝言板サービス

事前の登録が必要です! (事前にテストをしてください)

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言板サービスです。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

各社のQRコードはこちら

- NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
- au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- Willcom <http://dengon.willcom-inc.com/>

●緊急避難アイテム・備蓄品など

常時携行品 (常時携行品は外出時にいつでも携行することを勧めます。) 東日本大震災の被災地の方に聞いた、あると便利な緊急避難アイテム

チェック	品名	目的など	チェック	品名	被災地の方のコメント
	携帯ラジオ	正しい情報を得るために、イヤホンも忘れずに		手回し充電ラジオ、ライト	携帯電話の充電に困った
	予備電池	携帯ラジオ用、携帯電話用の予備電池		ろうそく、懐中電灯	停電中は想像以上に真っ暗になる
	懐中電灯	LEDが良い		電池	復旧に時間が掛かる場合は大量に必要
	持病薬	薬は入手困難になる		卓上コンロ、カセットガス	食事やお湯を沸かすのに必須、ガスは多めに必要
	飲料水	500CC程度でも良い		寝袋	特に冬場は役立った
	現金	小銭など用意しておくのが良い		自動車用充電ソケット	電池が無くなった場合に役立った
	飴	飴は緊張感をほぐします		マスク	家屋などの倒壊時にほこり、煙がひどかった
	保険証	万一負傷したときに、身分証明書としても必要		灯油、石油ストーブ	冬場は暖を取ることができ、お湯も沸かせる
	筆記用具	メモをとる時に使用		携帯ホイッスル(笛)	助けを求めするのに必要と感じた
	雨具	折りたたみの傘、ビニールカップなど		非常用食料・水	最低でも3日分、7日分を目安に

寒川町からの情報提供

防災無線テレフォンサービス

防災無線で放送された内容がよく聞こえなかった場合や、放送内容をもう一度確認したい時などに放送と同じ内容が自動音声で確認できます。

☎0467-74-0999

寒川町 防災・防犯情報

【携帯端末対応ホームページ】

町内の防災情報(気象情報・地震情報)や防災無線情報の放送内容などが携帯電話から確認することが出来ます。

【確認方法】QRコードを読み込んで下さい。

HPアドレス
http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/~bousai/i/i_index.htm



新発売

個人向け大地震対応マニュアル

ぜひご家族全員で携帯してください!

大地震対応商品紹介サイト
 (運営・株式会社野毛印刷社) ▶ <http://www.daijisin-taiou.com/>



学校、職場、各施設にいる場合は、そちらの指示を優先してください!

地震発生直後



揺れが収まったら



落ち着いたら①



落ち着いたら②



今いる場所は
本当に安全?

YES その場所を動かない

NO 避難場所へ



自宅に歩いて
帰れる?

YES 自宅へ

NO 学校・職場または避難場所へ

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼



通勤・通学中

大きな揺れを感じたら

- 周辺の状況に注意し、身の安全の確保を最優先にしましょう。
- 通行中はブロック塀、石塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意しましょう。
- 電車やバスの中では、つり革、手すりにしっかりつかまり、乗務員の指示に従って行動しましょう。
- エレベーターの中では、慌てずに全てのボタンを押し、停止した階の状況を見極めながら避難しましょう。エレベーター内に閉じ込められた場合は「非常用呼び出しボタン」などで外部と連絡を取りましょう。
- 車で移動中の場合は、徐行してから停車し、ラジオで状況を確認しましょう。

自分自身の心構え

- あわてず、落ち着いて行動しましょう。
- 被害状況を正しく把握しましょう。
- 負傷者はいないか? 負傷者がいる場合は安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当てをしましょう。
- 余震の可能性もあるので、慌てず、しばらく様子を見ましょう。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所に移動しましょう。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所に移動しましょう。
- 避難中は市区町村や警察、消防の指示に従いましょう。
- 火災の場合は煙を吸わないよう、ぬらしたタオルやハンカチなどで口を覆いましょう。
- どのルートで移動すれば安全か確認し、建物内の場合は、エレベーターは使わずに階段で移動しましょう。

避難場所

- 避難場所には、一時(いつとき)避難場所、広域避難場所があります。勤務先や学校での避難場所はもちろん、自宅周辺の避難場所についても普段から家族と一緒に確認しておきましょう。

一時(いつとき)避難場所

災害時に最初に避難し、周囲の状況などを確認する場所。

広域避難場所

地震などにより火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所。

家族・知人・学校・職場へ安否を連絡

- 裏面をご覧ください。

安全が確認されるまで避難場所にとどまる

- 余震が落ち着き、帰宅手段などの安全が確認されるまでは無理に帰宅せず、原則として避難場所にとどまりましょう。
- 徒歩で帰宅する目安の距離は20キロ以内とされています。あらかじめ、学校、職場、各施設から自宅までの距離や、帰宅経路を確認しておきましょう。
- 情報収集の際には、チェーンメールやうわさなどに惑わされず、公共機関、テレビ、ラジオなどから正確な情報を入手しましょう。

帰宅困難者10カ条

- ・慌てず騒がず状況確認
- ・携帯ラジオをポケットに
- ・作っておこう帰宅地図
- ・ロッカー開けたらスニーカー(防災グッズ)
- ・机の中にチョコやキャラメル(簡易食料)
- ・事前に家族で話し合い(連絡手段・集合場所)
- ・安否確認、伝言ダイヤルや伝言板
- ・歩いて帰る訓練を
- ・季節に応じた冷暖用具(カッパ・携帯カイロ・タオルなど)
- ・声を掛け合い、助け合おう

帰宅支援ステーション

災害時の徒歩帰宅者を支援するために、災害時帰宅支援ステーションでは、「水道水」「トイレ」「道路情報」などの提供をしています。ハートに足をあしらったマーク入りのステッカーを店頭に掲示した、コンビニエンスストアやガソリンスタンド、ファミリーレストランなどが役割を担っています。

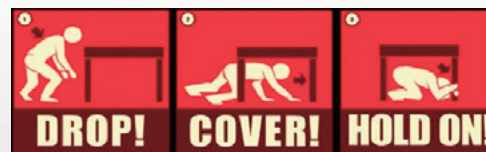


在宅中

- 落下物から身を守り、安全行動1-2-3を実行しましょう。
- 余裕があれば、ドアを開け、出口を確保してください。また、火の始末をしてください。
- 自分と家族の安全を確保しましょう。

- 避難場所へ向かうために家を出るときは、ガスの元栓を締め、ブレーカーを切り戸締りをしてから避難しましょう。
- 車で避難すると渋滞をまねき、緊急車両の通行の妨げになります。避難はなるべく徒歩で行いましょう。
- 必要に応じて、地域住民や自主防災組織と協力して、避難場所などでの地域救援活動に参加しましょう。

安全行動1-2-3



- 1 DROP!**
「姿勢を低く!!」
- 2 COVER!**
「頭・足を保護して!!」
- 3 HOLD ON!**
「そのまま揺れがおさまるまで待て!!」

防災情報Web

国土交通省の防災情報が
ご覧いただけます。



▶ 防災情報提供センター
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>